

ひらけ! パフォーミングアーツ



SPAC学校訪問 プロジェクト 実施校・施設 募集案内

子どもたちが演劇やダンスといったパフォーミングアーツに触れる機会を増やすため、SPACの俳優やスタッフが学校・施設を訪問いたします。下記プログラムの実施を希望する静岡県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校、放課後児童クラブ等を募集しています。お好きなプログラムをお選びいただきご応募ください。

【参加型】演劇プログラム **学ぼう!えんげき教室**

【参加型】ダンスプログラム **育てよう!ダンスの種**

【鑑賞型】演劇プログラム **味わおう!出前劇場**



「演劇やダンスができること」

「多様性」という言葉をよく耳にするようになりました。その一方で、「多様であること」を忘れ、「他人も自分と同じ考えのはずだ」「何でわかってもらえないんだろう」などと思ってしまうこともあります。

演劇やダンスなどの「パフォーミングアーツ」には、「自分と他人は違う」「ものの見方や考え方にはいろいろある」、そんなことを思い出すヒントが詰まっています。アーティストとじかに触れ合うことも、普段の生活ではなかなか得られない体験です。

さらにこの体験は、「コミュニケーション能力」「表現力」「美的感性」「発想力」「想像力」といった「チカラ」を刺激します。目覚めた「チカラ」は、自分らしく生きていこうとするときに、支えとなってくれることでしょう。

世界的に活躍するSPACのアーティストたちが、子どもたちの元へ出向きます。いっしょに、パフォーミングアーツのとびらを開いて「チカラ」を目覚めさせてみませんか――

参加型 演劇プログラム

学ぼう!えんげき教室

舞台俳優が講師となり「伝えるチカラ」を育むワークショップを、授業の目的、環境、参加者の年齢にあわせて行います。

「大きくはっきりした声で堂々と発言できるようになりたい」「表現力を豊かにするには?」「コミュニケーションをとることが苦手…」など、児童・生徒が抱える課題に演劇を用いて向き合うプログラムです。

プログラム対象表記凡例

小 …小学生 **中** …中学生 **高** …高校生 **特** …特別支援学校の児童・生徒



プログラム例 ※下記と異なる条件・内容でもお申し込みいただけます。

1 もっと朗読を楽しもう!

こんなときに おすすめ	国語の授業、学習発表会に向けての練習、放課後児童クラブでの活動など	小 中 高 特			
主な内容	顔の体操、発音・滑舌練習、腹式呼吸と发声、詩や小説などの言葉で遊ぶ(音の高低・緩急・強弱、輪読など)、グループで朗読作品を創る、評論文を元につくった戯曲を読む、など。				
⌚ 所要時間	90分～	👤 対象人数	10～60名	👤 派遣講師俳優	1～3名

2 演劇ワークショップで遊んでみよう!

こんなときに おすすめ	リーダー研修、キャリア教育(就職支援)、新学期のクラスづくり、放課後児童クラブでの活動など	小 中 高 特			
主な内容	演劇の手法を用いたゲームを体験し「相手を観察すること」「自分の意思を伝えること」を学ぶ、複数人で即興劇に挑戦しチーム力を高める、など。				
⌚ 所要時間	90分～	👤 対象人数	10～100名	👤 派遣講師俳優	2～4名



3 劇を創ってみよう!

こんなときに おすすめ	文化祭、学習発表会、お楽しみ会など	小 中 高 特			
主な内容	台本・シーンづくりの練習、演出の工夫を考える、劇にあわせて楽器の生演奏を入れてみるなど、短い劇を創り発表するまでを行う。				
⌚ 所要時間	45分～50分×5回	👤 対象人数	5～40名	👤 派遣講師俳優	2～3名

4 舞台芸家の仕事について知ろう!

こんなときに おすすめ	キャリア教育の授業、職業講話など	中 高			
主な内容	舞台芸家の仕事内容や仕事に就いたきっかけなどの実体験を聞く、簡単な演劇ワークショップを体験してみる、など。				
⌚ 所要時間	45分～90分	👤 対象人数	250名まで	👤 派遣講師俳優	1～2名

5 演劇部の活動にプロのアドバイスを!

こんなときに おすすめ	演劇部・演劇同好会の活動	中 高			
主な内容	重心と発声のトレーニング、舞台上での身体の使い方、演技の深め方など、舞台公演での実践で使える手法を中心としたワークショップを行う。				
⌚ 所要時間	120分～	👤 対象人数	1～30名	👤 派遣講師俳優	1～2名

SPAC俳優 講師紹介 (一部)



※プログラム内容に合わせて、他の俳優が派遣されることもあります。

片岡 佐知子

かたおか さちこ

日本大学芸術学部演劇学科卒業後、2007年より日本大学芸術学部演劇学科講師。2010年よりSPAC作品に出演。2017年よりSPAC人材育成事業「シアタースクール」などで中高生を指導。主な出演作・『オセロー』・『マハーバーラタ』など。

© 加藤孝



永井 健二

ながい けんじ

大阪教育大学卒業後、2000年よりSPAC作品に出演。2009年よりSPAC人材育成事業「シアタースクール」などで中高生を指導。学校でのワークショップ講師経験も多い。主な出演作・『頃れ』・『アンティゴネ』・『グリム童話』など。

© 加藤孝

参加型 ダンスプログラム

育てよう!ダンスの種

コンテンポラリーダンスの自由な発想と広い視野を用いて、各々の身体感覚や思考の違いに目を向け、言葉では表すことができないような事象を表現する力を育むワークショップです。

決められた振付を覚えて踊るだけではなく、子どもたちのなかに眠っている「身体表現の多様性」「想像／創造する力」に焦点を当てたプログラム。みんなで楽しくダンスの「種」をまいて、多種多様な表現の花を咲かせましょう!

コンテンポラリーダンスとは?

今、私たちが生きている時代(コンテンポラリー=同時代性)のダンス。特殊なテクニックや決められたスタイルではなく「自分が表現したい」と思ったことを自由に踊りにします。

こんなときに
おすすめ

体育や音楽の授業、
体育祭や文化祭など
学校行事の準備に

小 中 高 特

所要時間 50分～

対象人数 1回につき1～2クラス
(少人数～50名程度)

派遣講師 太田垣 悠

アシスタント 1～2名
(SPAC俳優およびスタッフ)



授業の内容 中学2年生を対象とした実施例

1

所要時間 50分×1回

対象人数 1クラス(30名)

- 「速い／遅い」「軽い／重い」「熱い／冷たい」など、様々なイメージに合わせて身体を動かしてみる。
- いくつかのグループに分かれ、課題曲から受ける印象でキーワードを設定し、ダンスの要素となる様々な動きを創作する。
- ②で創作した動きを、他のグループの動きと組み合わせて、課題曲とともにみんなで1つのダンス作品を作る。

授業の内容 聴覚特別支援学校(中等部での実施例)

2

所要時間 50分×3回

対象人数 1クラス(8名)

- 実際の縄を想像しながら行う「エア大縄跳び」や、手遊び歌を用いて、遊びながらウォームアップ。
- 講師によるデモンストレーションを交えながら、手話を発展させてダンスの要素となる様々な動きを創作する。
- 小グループ(3～5名)になり、②で創作した動きを組み合わせて、流れのある振付を創作する。
- ②～③で創作した振付や動きを組み合わせて、全員で1つのダンス作品を完成させる。

講師紹介



太田垣 悠

おおたがき ゆう

9歳よりバレエをはじめ、15歳で単身渡仏。リヨン国立高等コンセルヴァトワールを首席で卒業後、リヨン・オペラ座バレエ団やスイスのグラン・テアトル・ドゥ・ジュネーブで10年以上にわたり幅広いコンテンポラリーダンスのレパートリーを踊る。2016年よりフリーとなり、様々な振付家の作品を踊るかたわら、フランスのダンス教師国家資格を生かしプロ、アマチュアにコンテンポラリーダンスやバレエを教える。17年に帰国。SPACの中高生のためのダンスプロジェクト「スパカンファン」にてアシスタント・通訳を務める。

鑑賞型 演劇プログラム

味わおう!出前劇場

迫力満点!プロの俳優による演劇作品を、学校へお届けします。世界の名作から、その地域に伝わる民話や昔話など、対象学年にあわせた作品を出張上演。演劇ワークショップと組み合わせての実施も可能です。



朗読公演『鶴の話』 (作:中勘助)

中 高 特

竜神に奪われた玉を取り返しに、
海へと身を投げた海女の物語。
『銀の匙』の著者である中勘助が、
物語に登場する鳥の視点で描いた作品です。

- 上演時間 約45分
- 対象人数 少数～200名程度
- 出演俳優 2名



『三びきのやぎのがらがらどん』

小 特

「がらがらどん」という同じ名前の3匹のヤギが、
餌の草を求めて冒険へ。
絵本でも広く親しまれているノルウェーの童話を、
個性豊かな男優3名がお届けします。

- 上演時間 約45分
- 対象人数 少数～100名程度
- 出演俳優 3名



その他の作品例:『熊』(作:チエーホフ)、『守られた約束・破られた約束』(作:小泉八雲)、『やきいも』(作:小出正吾)、『かいじん二十めんそう』(作:江戸川乱歩)、『力チカチ山』、『グッド・バイ』(作:太宰治)、『やまなし』『オツベルと象』(作:宮沢賢治)、『東海道四谷怪談』(作:四代目鶴屋南北)ほか

★上記作品以外にも、ご希望の内容や会場に合わせて上演作品をご相談いただけます。

実施までの流れ

お申し込み

郵送またはFAXにて申込書をSPAC事務局までお送りください。

電話でのヒアリング ・打ち合わせ

お電話にて、コーディネーター(SPACE制作部スタッフ)が実施校・施設に、希望するプログラムの内容や目的、スケジュールなどについてヒアリングを行います。

派遣作品 ・アーティスト ・日程の決定

ヒアリングを元に、コーディネーターが先生・職員・生徒の希望に最適と思われる作品・アーティスト・ワークショップ内容及び日程を検討し、提案します。

打ち合わせ (参加型 プログラム の場合)

必要に応じて、コーディネーターと派遣アーティストが学校・施設を訪問。担当の先生・職員と、ワークショップ内容の詳細を打ち合わせします。(実施の2週間～1ヶ月前)

プログラムの実施

公演やワークショップを実施。

終了後に、担当の先生・職員、派遣アーティストと一緒に振り返りを行います。

SPAC - 静岡県舞台芸術センターとは――

SPACは静岡県立の劇団です。東静岡のグランシップにある「静岡芸術劇場」と日本平にある「舞台芸術公園」内の専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行っています。多彩なラインナップからなる舞台芸術作品の創造・上演とともに、中学生高校生を劇場に招待する中高生鑑賞事業「SPACeSHIP(スペースシップ) げきとも」、人材育成事業、海外公演など様々な活動に取り組んでいます。SPACの活動については、WEBサイト(www.spac.or.jp)をご覧ください。

お問い合わせ・お申し込み

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

SPAC - 静岡県舞台芸術センター
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

募集についてのお問い合わせ

事務局

TEL 054-203-5735

FAX 054-203-5737

E-mail

spac5735@po2.across.or.jp

実施内容についてのお問い合わせ

芸術局 制作部 アウトリーチ担当

TEL 054-203-5730

FAX 054-203-5732

E-mail

recafe@spac.or.jp

静岡県 子どもが文化と出会う機会創出事業

